

子育て支援券について

質問(小野寺尚武議員)子育て支援券について伺います。

答弁(産業文化部長)平成十八年四月から大田原市金券制度を導入し、市内商店等の消費拡大による経済効果及び景気浮揚を図ってまいりましたが、この制度をさらに充実させるため、平成十九年十月から大田原市子育て支援券に制度を改正いたしました。子育て支援券をご使用いただくことにより、子育て支援の資金が生まれ、子育て支援事業に充てられて



雨水排水計画に基づいて整備を行っています

います。市民の皆様には少しお手数をおかけいたしますが、大きな社会貢献をしていただいております。また取扱店には換金する際、1%分を子育て支援のために負担をいただいておりますが、平成二十一年度末には五百三十八店舗の皆様方に趣旨をご理解の上、ご賛同していただいております。

子育て支援券販売につきましては現金と同等の管理をしております。現在十四カ所まで支援券を取り扱っております。各販売所が支援券を販売する場合、販売簿記帳によりチェックの上、販売し、直ちに販売額を商工観光課に通知をしていただき、商工観光課が入金処理を行います。各販売所では、日計、月計及び受け払い整理簿によりまして常に販売額、在庫管理を行っています。

販売状況につきましては、平成二十一年度の販売金額は平成二十年度より14.4%増の一億四千七百四十六万四千円でありましたが、そのうち38.2%の約五千六百万円が敬老祝金等の市関係での販売割合で、61.8%に当たります約九千九百万円が個人への販売となっております。

雨水溝の現況について

質問(相馬大藏議員)金灯籠付近の雨水排水溝の現況について伺います。

答弁(建設部長)金灯籠を中心とした南北に走る主要地方道大田原高林線及び国道四〇〇号と東西に走る国道四六一号沿線の道路側溝が排水の境となり、住吉一丁目、中央一・二丁目付近の雨水は那須土木株式会社前から岩井屋方面にかけて設置されている中央下水路に流入、新富一・二丁目等の雨水は道路側溝を通り、ふ

たば幼稚園からハートランド方面にかけて設置されている元町下水路に流入し、一級河川鹿島川へ放流しております。また、山の手及び城山地区の雨水は、紫塚小学校から大田原赤十字病院内を通り、大田原女子高校第二グラウンド横を通る寺町下水路に流入して、一級河川蛇尾川に放流しております。参考までに、本町、美原地域の雨水排水は、深川下水路に流入し、百村川に放流しております。大田原市街地の地形は、日赤

方面から大田原女子高校への勾配となっており、金灯籠から薬師堂方面は自然勾配が少なく、水が流れにくい地形となっており、以上が市街地の道路に設置されている雨水排水溝の現況でございます。

現況側溝の排水経路図は作成されておりませんが、大田原公共下水道で昭和五十四年に作成している雨水計画は、現況道路を基準として雨水排水計画が定められており、今後も道路改良工事及び排水路等整備工事を行う場合には、この計画に基づいた整備を行いたいと考えております。

ヒブ(Hib)ワクチンの接種について
希望の方は事前に、医院に予約が必要です。

行政措置の定期外予防接種ですが、料金の補助があります。

対象者：3か月～1歳未満の乳児
受け方
接種開始月齢が3か月～7か月未満…初回3回・1年後1回
接種開始月齢が7か月～1歳未満…初回2回・1年後1回
○基本的には、三種混合と同時に接種ができます

行政措置の定期外予防接種ですが補助があります。

費用…1人1回につき	7,000円かかります。
市からの助成金	5,000円
自己負担額	2,000円

ヒブとは、インフルエンザ菌15型の中で通常のインフルエンザとは異なります。ヒブは、子どものどや、鼻にいることがあり、そのままでは病気になりませんがかかると髄膜炎や敗血症・急性口蓋炎など重篤な病気を引き起こします。小児接種性髄膜炎の原因としてヒブが90%以上を占めます。年間約500人～600人が死亡し、その半数は生後6か月～1歳までのお子さんです。かかる5%のお子さんだけでなく、約20%前後のお子さんに後遺症が残ります。ヒブワクチンは、安全性の高いワクチンです。是非早めに接種を受けましょう。

ヒブ予防接種の助成金は、子育て基金(子育てチケット)でまかなわれています。

問い合わせ先：大田原市子ども母子健康係 23-8634

子育て支援券でまかなわれています